



北条中 学校だより
令和6年度 第3号

よし かせ
芳 風

校 訓：質実 自治 奉仕

教育目標：自由の相互承認

わたしの自由も大切にする
あなたの自由も大切にする

保護者配付 令和6年6月28日

地域回覧 令和6年7月 4日

◆<上越地区中学校体育大会>結果

(敬称略、名前の後ろの()内は学年)

○陸上競技 (6/11・12 高田城址公園陸上競技場)

共通女子砲丸投	9m78	第2位	(3)	<u>【県大会出場】</u>
共通男子200M	23" 79	第4位	(3)	<u>【県大会出場】</u>
共通男子400M	53" 77	第4位	(3)	<u>【県大会出場】</u>

○水泳競技 (6/11・12 上越市民プール)

女子100M自由形	1' 17" 45	第8位	(2)	<u>【県大会出場】</u>
女子100M, 50M自由形	予選惜敗		(1)	
女子100M自由形	予選惜敗		(1)	
女子 50M自由形	予選惜敗		(1)	

○軟式野球 (6/17 高田城址公園野球場)

柏崎東部 (東中, 五中, 南中との合同)
1回戦 対城東 0-7 惜敗 (五回コールド)



○女子バスケットボール (6/21柏崎市総合体育館,

6/22妙高市総合体育館はねうまアリーナ)

予選トーナメント	対春日	62-37	勝利	
決勝リーグ	対直江津東	59-37	勝利	
	対新井中	68-54	勝利	
	対城西中	41-61	惜敗	⇒第2位 <u>【県大会出場】</u>



○柔道 (6/21 謙信公武道館)

団体戦	第4位 (対城西, 対直江津東, 対新井ともに惜敗)
個人戦	体重別階級 (1) 団体戦3試合目で肩を負傷し棄権
	体重別階級 (2)
	1回戦 対 (城西) 惜敗
	3位決定戦 対 (城西) 惜敗
体重別階級	(2) 第2位 <u>【県大会出場】</u>
	1回戦 対 (直江津東) 勝利
	準決勝 対 (新井) 勝利
	決勝 対 (城西) 惜敗

<今後の予定>

◆通信陸上競技大会 7/7(日), 8(月) (デンカ・ビックスワン) …新潟市

◆県中学校総合体育大会

【陸上競技】 7/20(土), 21(日) (五十公野公園陸上競技場) …新発田市

【バスケットボール】 7/13(土), 14(日) (アオーレ長岡 他) …長岡市、三条市

【水泳】 7/13(土), 14(日) (ダイエープロビスフェニックスプール) …長岡市

【柔道】 7/13(土), 14(日) (新発田市カルチャーセンター) …新発田市

◆上越地区吹奏楽コンクール 7/21(日) (上越文化会館) …上越市

<御礼> 保護者の皆様、地域の皆様、応援ありがとうございました。地区大会、県大会、コンクールへの出場に係わり、選手やチームの登録料、生徒輸送料等については、後援会費から多大なるご支援をいただいております。心より感謝申し上げます。

7月・8月の主な予定

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4 個別面談① PTA役員会	5 個別面談②	6	7 英検2次 通信陸上
8 通信陸上	9 生徒集会 専門委員会	10	11	12	13 県大会	14 県大会
15 海の日 県大会	16	17 あじさい整備 活動	18 3年生 確認テスト	19	20 県陸上	21 県陸上 吹奏楽 コンクール
22	23 休業前集会	24 夏季休業 マーチング	25 2年生 職場体験開始	26	27 夏渡 草刈り	28
29	30	31	8/1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
← 閉庁期間…緊急時は、市役所へ連絡を →						
19	20	21	22	23	24	25 夏季休業 終了
26 休業後集会	27 発育測定3年	28 発育測定2年	29 発育測定1年 心のアンケート	30	31	

※9月 2日（月）、3日（火） 前期定期テスト

※9月14日（土） 体育祭

◆ 同和問題学習授業公開（6月20日）

部落差別問題をはじめとした人権課題を扱った授業を全学年で行いました。「身の回りで部落差別なんて、今どき、ありますか」という声が、あがるでしょうか、あがらないでしょうか。柏崎市の「人権に関する市民意識調査」(令和3年度)では、「あなたは今でも、同和地区の人や出身であることを理由に差別や人権侵害があると思いますか。」という問いに対して、あると思う24.4%、ないと思う27.8%、分からない45.9%という結果が出ています。この問題は、現在でも法律が成立し、訴訟が起こっている人権課題です。特に、インターネットを介して、差別情報が暴露されている現状があります。見ようとしなければ、知ろうとしなければ、誤った情報に惑わされて、自分自身が差別者になりかねない課題です。生まれたところ、住んでいるところを理由にいわれのない差別が起こるとい、日本固有の差別問題が、解決に至っていない現状、正しく知ることの必要性、そして、学校教育の現場から地域に正しい啓発を行うことの効果などが各種資料で述べられています。部落問題学習は、差別を受けてきた人の悲惨さを学ぶ学習ではありません。誤った認識で、自分自身が差別する側にならないという決意を固める学習です。1時間では、学びきれない内容もあります。ぜひ、家庭でも、地域でも正しく話題にしてみてください。（校長）